



No.112

～伊藤賢一さん追悼号～

発行 南足柄市商工会青年部
編集 南足柄市商工会青年部 広報担当係
<http://kintarou-minamiashigara.jimdo.com/>



今年度部長をつとめさせていただいた加藤銀次です。伊藤賢一さんの訃報を聞いたのは2月10日の朝でした。内田さんが当日お見舞いに行く予定だったので、信じられず、夢なのかと思いました。退院して焼肉行こうと約束していたので、前日退院時無理にでもみんなで行けば良かったと後悔しました。賢ちゃんは自分が入部して居場所がないときにも気を使って近くに来て一緒に飲んでくれるようないい先輩でした。自分が始めての役を受け、不安なときも「銀ちゃんなら大丈夫だよ。何でも言ってみてね、何でもやるよ」といつも笑ってはげましてくれ、頼りになるお兄ちゃんのような先輩でした。うちの商工会青年部のメンバーは個性の塊のような人の集まりですが、賢ちゃんは誰かの文句や愚痴を聞いてもい

つも笑って解決のヒントをくれたり間に入ってまとめてくれるような人で、賢ちゃんから誰かの悪口を聞いたり、誰かから賢ちゃんの悪口を聞いたことって本当はないかと、それってすごいことだなと今になって気づかされま

入院中もLINEで「部長、力になれなくてゴメン」とか「イベントどうだった？」など人の心配ばかりして、さすがに自分の心配してくださいと言ってしまうました。亡くなる前まで看護婦さんに「街コンに参加してやってくれ。参加できなくてもないから、成功させてあげたい」と頼んできていたと言った話を奥さんから聞いた時は、胸があつくなり、賢ちゃんの為にも意地でも街コンを成功させようと心に誓いました。大成功だったよと直接報告したかったです。

賢ちゃんにしか頼めないイヤな役もいつも笑顔で俺がやるしかないだろ」と引き受けてくれ、頼りさせてもらいました。いつも人も選んでもめる今年の主張大会も快く引き受けてくれ、体調の悪い中、南足柄の部員の心に響くとても良い主張発表をしてくれました。審査員のなかでもみんな感動したと言っていました。

酒を飲むとへべレケですが、飲まないも堂々とした立派な姿でした。いつも人のことを心配して、自分がまっすぐ歩けてないのに、気をつけて帰れよと見送ってくれ。賢ちゃんがね...と言った下

りが何度あったか。みんな賢ちゃんが大好きでした。酔って自分のことをポンコツだからと言っていました。が、こんななみんなに愛された人はみだことありません。賢ちゃんが困ったらみんなが助けようと思える人でした。

本なら元気になってみんな飲みたかった。なんていい人ほど早く亡くなるんだらう。悲しいのと、賢ちゃんに笑えと怒られそうなのがします。

賢ちゃんは一生忘れず生きていこうと思います。何年後かにみんな向こうにそろったら、一緒にみんな飲ましよう。待っててください。それまではみんなを見守ってくれてると思ってます。今までありがとうございました。

部長 加藤 銀次

.....

けんが亡くなって1ヶ月、本当にけんがいなくなってしまうた実感はまだありません。この1ヶ月何がいちばん変わったかというと、車を運転しているときやパソコンに向かって仕事をしているとき、けんこの思い出が頭の中をよぎる事が多くなりました。楽しかった思い出しかでて来ないってくらいけんは楽しくていい男だったと思います。

今回告別式で弔辞を読ませていただきました。急なことだったので一夜漬の文章でしたが、文章を書いているときから涙が出てきてしまかなかいい言葉も浮かんでこず、また言いたいこともあれこれたくさんできて

しまい正直文章が進まずかなり時間がかかってしまいました。当日も「落ち着いて読もう」と心に決め一言一句丁寧に読もうと思っていました。読んでいて途中で泣いてしまいました。

自分自身こんなに泣いてしまうとは思いません。初めての経験でした。本当はもっとたくさん言いたいことがあったんだけど、すべては言えなかったからここに1つだけ言おうと思います。

弔辞の中で俺が部長をやる時のけんとのエピソードを話していたのが、卒業して一緒に壮年部に入って何年かしたらけんが部長をやってもらおうと思っていました。そうしたらあの時のお返しに「なんでもやるよ」と言ってくれたらなと思っていました。そんな将来の思いも持っていました。そんな現実できず、何もしてあげられなかったのが本当に心残りです。

本当にそれだけが心残り。まだまだ話したいこともたくさんあったし、一緒にもっと飲みたかった、一緒に卒業したかった。本当に残念。

でもけんに出会えて本当に良かった。けんに出会えたこと感謝します。どうか安らかに。

最後に告別式のあの場でけんにお別れを言わせて頂く機会を与えてくださったご遺族の皆様・関係者の皆様に感謝します。ありがとうございました。

内田 大祐

笑顔が素敵だったケンちゃんへ

今回追悼記事として、ケンちゃんへの思い出や、感じて来た事を書かせて頂く機会をもらい嬉しく思っています。

まず私とケンちゃんへの出会いは今でも鮮明に覚えています。最初に話かけた場所はお酒の席でした。お互い互いに自己紹介もせず、カラオケがスタート！当時、「青春アミーゴー修二と彰」と言う歌が流行っており、二人とも酔っていたノリで一緒に歌いませんか？と私が誘った所スグ了承！肩を組みながら楽しく歌ったのを、はっきり覚えてます。今ではケンちゃんとその話をすると、お互いで、この人誰だ？知らない奴と肩組んで歌ってる！でも凄く楽しかったと二人で大笑いしました。今では修二と彰は、ケンちゃんとの思い出の曲になり、先日久しぶりに聞き、泣きました。

そこからケンちゃんと仲良くなるスピードは異常に早かったですね。当時バス釣りにハマっていた話をすると、これまたケンちゃんも大のバス釣り好き♪好きなルアーやメーカーバスプロなどピタリ好きな好みが一緒に意気投合！又美味しいお酒を一緒に飲み楽しかったですね。本当にケンちゃんはお酒が大好きで、笑って楽しいお酒を飲む才能だけは、超一流でした(笑)あんなに気持ち良く酔っぱらえる人はそうそういません♪

ケンちゃんは私の5歳7年上なのに、相手と同じ目線に立って話をしてくれます。私が良く叱られてたのは、

「龍輔は、顔や態度に感情が出すぎる。もっと上手く立ち回れ！」まあ言ってる俺にも出来ないけどね〜と最後にはニコニコしながら核心をつくアドバイスをいつもくれていました。そんなケンちゃんが大好き！いや、大好きでした(笑)

ケンちゃんの追悼記事を書くにあたり、これだけは私が絶対書かなければいけない事は、やはり主張大会です。大勢の青年部員の前で10分間青年部活動について主張するというもの。私がケンちゃんの主張を聞きたい！とお願いました。私も経験した事があるので良く分かりますが、正直10分て長いんですよー！私も今まで生きてきた中で一番緊張して手が震えました。その主張大会をケンちゃんは卒業する前に出場するよと、気持ちよく承諾して頂きました。カッコ良かったです。10分間の原稿を書くには、まず自分の中での青年部活動を必ずふり返ります。私の時は、青年部活動をふり返り、整理し伝えたい事や思いを原稿にまとめて発表しました。ケンちゃんも私と同じように原稿を沢山悩んで作ってはです。

私は今ではこう思います。大変で沢山悩んで青年部に向けた熱い想いを文章として残せた事は本当に良かった事だと思ってい

ます。ケンちゃんの主張を生で聞き、南足柄市商工会青年部への熱い想いを沢山もらい感動しました。

ケンちゃんは主張の中で「恐れず何事にもチャレンジしてみて下さい！やり遂げて達成感を味わって下さい！きつと自分の血となり、肉となるはずですよー」と語り、心に響きました。私もこの先色々な事をやっていくうえで凄く支えになってくれる言葉だと思えます。

ケンちゃんの主張大会の原稿メールを先日じっくり改めて読みました。この原稿は永久に保存し私の宝物になりました。

最後に今まで本当に笑顔が素敵で、優しいケンちゃん！ありがとうございました。

「冥福をお祈り申し上げます。

高橋 龍輔



伊藤 謙ちゃんへ

けんちゃんといつかから仲良くなったのは、覚えていない。青年部の飲み会に限らず、飲みに行くといつも横にべったりクツツイテイタ気がする。まるで僕の彼女かっけ言うくらいべったりと。よくキスもされた。俺は、女性が好きなのに。謙ちゃんはキス魔だから多くの青年部は、唇を奪われているはず。

青年部の集まりの中では、善い事・悪い事を僕ら後輩に的確に話をしてくれる。でも、お酒が入ると僕の彼女になる。笑

「じゅん」「じゅん」って何度も呼ばれる。隣にいるってば。そして、あの高笑い。鼻もなる。笑

謙ちゃんはいつも俺を褒めてくれたり、謝ったり、なんでも相談されたり、素直で可愛い感じ。見た目は、スーパーサイヤ人じゃないベジータだけ。

謙ちゃんは、僕の好きなA B型だった。真面目で天才肌の氣質。そんな謙ちゃん、出来れば僕の会社に居て欲しい人材だった。

あ、だったって過去形。謙ちゃん居なくなっちゃった。なんで、謙ちゃんいなくなっちゃったんだろ。神様って居ると思ってるけど、本当はいないのかも。いたら謙ちゃんを癌になんかしなれと思つな。

平成29年6月主張大会の謙ちゃん、僕はその時タイムキーパーだった。10分間の主張で話し始める内容の中に、「10分間話せるかわからない」って言っている。

た。

謙ちゃん10分経ったよ。まだ終わる気配がない。話は、熱くなってきた。

謙ちゃん11分たったよ。まだまだ、終わらない。

謙ちゃん12分!?もう、俺たち南足柄市商工会青年部に熱く語りかけている感じ。

12分27秒やっと終わった。10分を過ぎれば過ぎるほど、減点されてしまうのに。

発表前は、あんなに緊張していたのに。話し出したら熱くなつて止まらなくなつてる謙ちゃん。好きだな〜その性格。笑

たぶん今、謙ちゃんはみんなの事を心配していると思う。お節介おじさんだから。自分の心配してればいいのに。謙ちゃんともっと飲みに行けばよかった。俺が、いい病院紹介して早期発見してあげればよかった。もう、遅いけど。

なんで、もっと早く対処してあげられなかったんだろう。悔しい。

仲間の死に直面するといつも思う。俺にもっと何か出来たんじゃないかって。だから、出来る事は何でもする様にしているつもりだけど、全部はできなくて・・・

人生って、こつこつって後悔の連続。小さい事も大きい事も。謙ちゃん。

ありがとう。

僕の彼女 謙ちゃんへ

永田 準一